

山岡鉄舟の功績解説

静岡で徳川 講演や朗読劇で みらい学会

徳川時代の歴史的意
義を研究・発信する徳
川みらい学会は16日、

2018年度の徳川家
臣団大会・本年度第1
回講演会(静岡商工会
議所、静岡市共催)を

静岡市葵区で開いた。
幕臣の子孫など約50
0人が詰めかけた。

講演会では「明治維
新150年と静岡」を
テーマに、静岡とゆか

り深い山岡鉄舟に焦
点を当てたプログラム
を実施。講演と朗読劇

を通じ、江戸城無血開
城に大きな役割を果た
した鉄舟の人物像に迫

った。
県舞台芸術センター
所属の舞台俳優奥野晃

士さんは、15代将軍慶
喜の命を受け西郷隆盛
との会談に至るまでの

過程を音楽を交えた臨
場感ある朗読や動きで
表現。江戸城無血開城

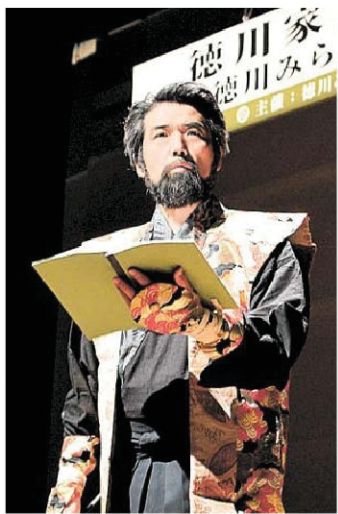
の流れをつくった鉄舟
の功績を再評価した。
講演には鉄舟が創始

した全生庵(東京都台東
区)の平井正修任職
が登壇した。鉄舟の年

譜をひもとき、その人
となりから幕末・明治
期にかけての活躍を説

いた。「鉄舟はこれと
思ったら道を究める
人。禅の上では、自分

をなくしていく『無敵』
の境地に至った」と顕
彰した。



動きのある朗読で鉄舟の物語を語る奥野晃士さん

16日午後、静岡市葵区

も参加。徳川さんは、
家康公が礎を築いた徳
川時代の平和は、静岡
の地で10年がかりで熟
考したものとし、「世
界に誇れる平和な時代
は、静岡に始まり幕末
に形を変えて続けよう
としてきた」と語った。
(社会部・垣内健吾)

イベントには徳川宗
家18代当主徳川恒孝さ
んの長男・徳川家広さ
ん、西郷隆盛の子孫で
陶芸家の西郷隆文さん

